

はじめの一步



令和4年 6月14日(火) 発行
 塩竈市立第二中学校 1 学年
 No.7 文責 1 学年主任

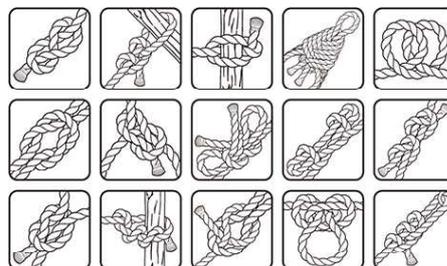
市総合防災訓練がありました～6月12日は県民防災の日

1978年6月12日午後5時14分、宮城県沖を震源とする地震が発生しました。この地震を教訓に、宮城県ではこの日を『県民防災の日』とし、各学校でも6月になると避難訓練を重ねてきました。



日本は4つのプレート上に国土があり、どこでも地震発生の可能性があります。地震以外にも、台風による暴風雨、洪水・浸水、火山の噴火、火山灰の降灰など、さまざまな場面で自然災害が発生する可能性があります。だからこそ、日頃の備えが必要となってきます。国や都道府県、市町村では、大きな災害が発生するたびに、そこから教訓を得て、防災・減災につなげていくための法律や制度の整備を進めています。しかし、一人ひとりの命を守ることができるのは、「自分」だということを忘れてはいけません。

今回、市総合防災訓練に合わせ、中学校でも避難訓練と体験プログラムを実施しました。1年生は松島自然の家の方々を講師にお迎えして、ロープワークと新聞紙スリッパの製作を行いました。ロープワークでは、「節結び」「巻き結び」「もやい結び」を一人ひとりが短いロープで行いました。あっという間に出来る生徒もいれば、悪戦苦闘をする生徒もいます。その中で、互いに教え合う姿が見られたのは良かったと思います。本来、晴天であればロープワークで学んだスキルを活かして簡易テント作りをする予定でしたが、急に雨天になったため、体育館で新聞紙スリッパを製作しました。基本の作り方のレクチャーを受けたあと、自分の足のサイズに合わせ工夫をして一足のスリッパを製作することが出来ました。ロープワークも新聞紙スリッパも、「知っているとは便利な知識」です。ただ、使わずにいると使えない・できないに逆戻りします。何かの折りに、ご家庭でもライフスキルを確認してみたいかがでしょうか。



教育相談のお知らせ

中学校に入学して2ヶ月が経過しました。行事続きだった4月と比較すると、落ち着いて授業を受ける日々が続いています。家庭学習のノートや取り組んだワークが、毎朝教卓に積み上げられており、多くの生徒が家庭学習にも積極的に取り組んでいる様子がうかがえます。一方で、教科の課題の提出が遅れてしまったり、未提出のままだったりという生徒もいるので、計画的に取り組むことや期限を守ることについての声掛けしているところです。

中学校では、6月後半から担任と生徒との二者面談を行います。生徒が日頃考えていることや、抱えている悩みを把握することで、安心して学校生活を送るための支援につなげていきたいと考えています。また、夏休みには保護者の方に来校していただき、保護者と担任との二者面談を計画しています。本日、日程希望調査用紙を配付しましたので、希望する日程に○を付けていただき、**6月20日(月)までに提出**をお願いいたします。希望をもとに調整を行い、再度ご連絡いたします。よろしくお願いいたします。

